

# 第19号

定価1年間300円  
組合員の購読料は  
組合費に含む



## 発行 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1  
TEL 0139(52)0858 FAX (52)1490  
発行責任者 石橋英敏  
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

### 道教組第27回定期大会

#### 子どもたちや保護者や地域、教職員が大切にされる『学校づくり』を！



全北海道教職  
員組合（道教組）  
の第二十七回定期  
大会が三月一五  
日・一六日の両  
日、札幌市内の  
道高校教職員セ  
ンターで開催さ  
れました。全教  
から北村中央執  
行委員長、道庁

連村から黒澤議長が来賓として出席しま  
した。檜山教職員組合から四名の代議  
員が出席し、討論に参加しました。

冒頭あいさつ  
に立った西野誠  
執行委員長は、  
今の政治情勢か  
らくる北海道の  
教育現場を読み  
解きました。そ

して、「子どもと保護者、教育関係者  
が抱えた様々な矛盾を『自己責任』に  
置き換えられ、問題解決の取り組みを  
結果的に個々に押し込めている流れ  
がある。このことは、社会的課題とし  
てとらえる必要がある。今、心身を痛  
め、休職を余儀なくされる教職員が後  
を絶たない。所属組合の違いと加入の  
有無を越え、教職員として互いに抱え  
るしんどさを『聴き取り合い』、健康  
で子どもたちに向き合うことのできる  
教職員のつながりを広げよう」と呼  
びかけました。

榎本書記長が経過報告と運動方針  
提案を行いました。「憲法改悪（解釈

## 立場や組織という垣根を越え、 「しんどさ」を聴き取り合いたい

改憲）に反対し、戦争する国づくり、  
人づくりを許さず、憲法と子どもの権  
利条約をいかす」「子ども・保護者の  
願いにもとづく教育の実現を図る」  
「国民と教職員の生活を守るために  
共同する」「対話と共同の運動を前進  
させる」ことを柱とした方針案を全会  
一致で承認しました。  
大会では三〇名の代議員が討論、檜  
山教組からも発言しました。  
『学力』を上げるためではなく、  
『学テ』をあげるためにどうすればい  
いかということになっていないか』  
『先生、これテストに出ますか』と

小学生が言ってくる。テストに出なけ  
れば勉強しない雰囲気」「ドリルのな  
ものはできるけれど、じっくり考える  
のは苦手」「若い教職員は、学力＝学テ  
と知っているかもしれない」「なぜ、  
君が代・日の丸の強制に反対している  
のかわからない」「普通に働ける職場  
は、人を人として大切にされている職  
場」などといった発言が各地の代議員  
からありました。  
檜山教組・越前秀一代議員（江差支  
部）は、六年生の社会科の授業で、憲  
法を取り上げた実践と絡めながら、  
「改憲、護憲ということを押しつける  
のではなく、様々な意見を聴き、自分

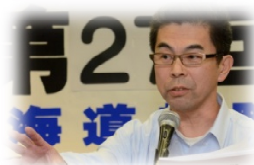


同・滝澤圭代議員（乙部支部）は、  
「人として自然に学ぶふるさと学習」の実  
践を紹介しました。「その漁師のお父  
さんは、しばらく黙りこんで、ぐっと  
息をのみ、涙声で話し始めたんです。  
『感動した。私の子どもたちの漁業  
のこと、調べてくれた、親の手伝いし  
ていたそのころのことを思い出した。  
それをみんなが調べてくれたことに  
感動したし、私の生まれるもつと前、  
父親が子どもたちのこの町のこと  
をしつかり調べ  
てくれた。小さく  
なっていく町だけ  
ど、どうなるんだ



ろうって思っていた。だけど、これな  
ら大丈夫だと思つてうれしくなった』  
と漁師の語りを紹介しながら、『オー  
ル〇〇〇』といった一括りの学びだけ  
ではなく、それぞれの地域が持つ多様  
な学びがある」と発言し、自分たちが  
暮らす地域や人の尊厳を大切にする  
学びの重要性を訴えました。  
同・石橋英敏代議員（江差支部）は、  
教職員が理解と納得をしないまま、上  
からの押しつけに、「子どもたちも、  
保護者も、教職員も窮屈な中で過ごし  
ている」と語り、じわりじわりとその  
影響を受け、心身を痛め、休職や退職  
に追い込まれていった教職員  
の労働阻害の実態を訴えまし  
た。

大会では「憲法九条がうたう  
平和主義に真っ向から対立す  
る戦争をする国づくり」「首長  
の限らない教育への支配・介入  
に道を開こうとして  
いる教育委員会制度  
の改悪」「内心にまで  
踏み込んだ道徳の教  
科化」「『全国学テ』に  
偏重した『競争と管理』  
教育」に抵抗し、子どもの健やかな成  
長と自己実現を願い、超過勤務の中、  
日々苦しみながら教育実践をすすめ、  
目の前の子どもや保護者に寄り添い、  
そして、同僚と語り合いを通して、「参  
加と共同の学校づくり」の実現をめざ  
すことの大会アピールを確認し、閉会  
しました。なお、昨年に引き続き、中  
山晴生檜山教組書記長が道教組書記  
次長に選出されました。



# スタートラインだ！ 2013 桧山教職員の集い 開催要項

**取り急ぎ**

人と一緒に育ち合う仕事だもん！ やっぱり人から学ぼう！

1 日時 2014年5月10日(土)

5月になりました！

2 場所

江差町・桧山地域人材開発センター「まなびっく」

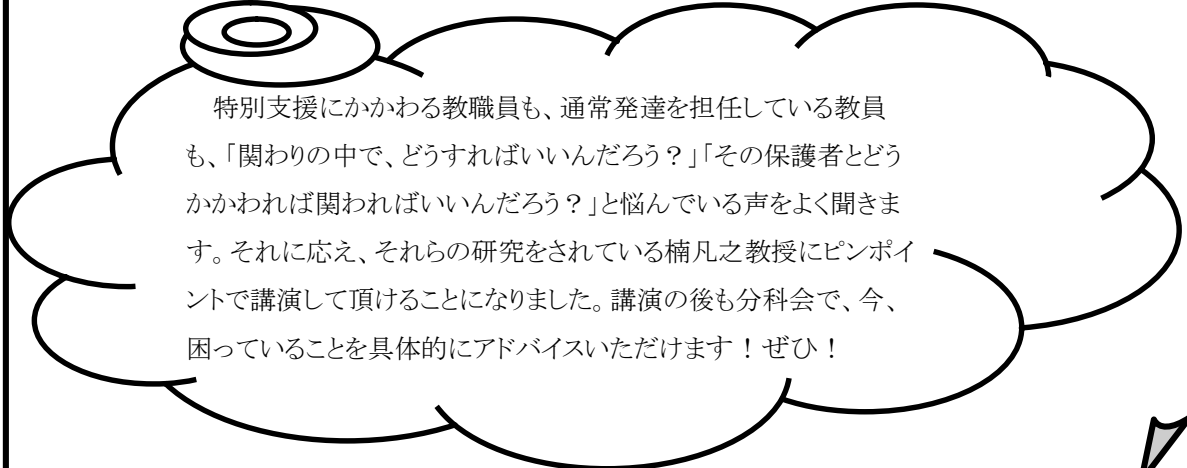
宿泊/交流会…江差町内予定

講演 楠 凡之さん(北九州市立大学 教授)

「発達障害のある子どもと学級づくり」(仮)

プロフィール

1960年大阪生まれ。京都大学卒 専門は臨床教育学(発達障害、いじめ、不登校など) 著書に「自閉症スペクトラム障害の子どもへの発達援助と学級作り」(高文研)『『気になる保護者』とつながる援助』(かもがわ出版)ほか。



特別支援にかかわる教職員も、通常発達を担任している教員も、「関わりの中で、どうすればいいんだろう?」「その保護者とどうかかわれば関わればいいのか?」と悩んでいる声をよく聞きます。それに応え、それらの研究をされている楠凡之教授にピンポイントで講演して頂けることになりました。講演の後も分科会で、困っていることを具体的にアドバイスいただけます!ぜひ!

## 校長・教頭登用人事

今年度校長採用(年度途中も含む)は、他管から二名、管内から五名、計七名(昨年度三名)となっています。保護者・地域の期待に応える学校づくりでの活躍が期待されます。

抱えます。

採用となられた校長と昇任された教頭が、これまでの経験の中で培われた力量と識見を発揮され、学校づくりに新たな活力が吹き込まれることへの期待と希望が高まっています。桧山の地域に根ざし、創意と総意が生かされる教育活動の創造と学校づくりにご尽力くださいますようお願い申し上げます。

- 江差北中 野村 誠(江別第三中)
- 鷗中 福井順一(今金中)
- 青苗小 石澤修介(江差中)
- 青苗中 永倉裕範(栄浜小)
- 種川小 安田彰浩(渡島さわら小)
- 馬場川小 本谷弘之(鷗小)
- 玉川小 佐藤 等(若松小)
- 昇任教頭(カッコ内は前任校)
- 厚沢部中 村田 稔(湯ノ川中)
- 奥尻中 佐野秀輔(上ノ国中)
- 瀬棚小 西山恭史(南が丘小)

## 本年度退職される方々

退職者は、校長七名、教頭一名、教諭八名、養護教諭一名、計一七名(昨年度八名)です。長い道程を歩み終えられた方、心残してさらされる方、新しい道を求められる方、皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございます。ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

### 校長退職者

- 大平浩文(江差小)
- 藪 敬(南が丘小)

後藤賢一(厚沢部小)

成田英博(奥尻小)

福士優悦(久遠小)

柳原忠広(乙部中)

西野文敏(大成中)

### 教頭退職者

佐々木哲博(大成中)

### 教諭退職者

- 竹林美枝子(南が丘小)
- 西 信乃(上ノ国小)
- 高橋和子(厚沢部小)
- 伊藤佳奈子(宮津小)
- 四辻敦子(瀬棚小)
- 田中 信(北檜山小)
- 富田佐都栄(鷗中)
- 青木 萌(奥尻中)
- 養護教諭退職者
- 大平雅子(若松小)

## 桧山から転出される方々

向かわれる地においても、お元気で活躍されることをご期待致します。

### 校長

木古内・木古内小 中山秀悦(今金小)

指導主事 才ホーツク教育局 高橋勝義(大成中)

### 教諭

- 函館昭和小 黒瀧康子(江差小)
- 松前・大島小 徳田理恵(北檜山小)
- 苦小牧・植苗小 上野隼兵(乙部小)
- 十勝清水小 白澤大輔(青苗小)
- 釧路・茶内第一小 坂田聖子(乙部小)
- 事務職員
- 八雲・浜松小 前田 歩(奥尻小)
- 苦小牧・明倫中 狩野雄太(大成中)

## 道新掲載記事より抜粋(敬称略)

### 桧山教組新役員紹介

- 委員長 石橋英敏(江差北中)
- 副委員長 浜口喜久雄(久遠小)
- 書記長 中山晴生(南が丘小)
- 書記次長 安里 朗(河北小)
- 会計委員 松尾康成(厚沢部小)
- 執行委員 押見清一(上ノ国小)
- 木村 一夫(鷗小)
- 内糸俊男(江差北中)
- 越前秀一(江差小)
- 市来成子(湯ノ岱小)
- 遠藤美由樹(今金小)
- 野口真弓(江差小)
- 笹谷 透(上ノ国小)
- 高橋 正人(上ノ国小)
- 茶森茂樹(厚沢部中)
- 佐竹秀昭(瀬棚中)
- 川瀬雄治(江差小)
- 森 博則(滝沢小)